

平成27年度自己評価公表シート

幼保連携型認定こども園 城山幼稚園 園長 豊田 泉

はじめに

城山幼稚園における自己評価シートをもとに、現状における本園の実情を分析した結果、概ね以下の通りとなった。

【一】教育方針

本園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとしての満3歳以上の子どもに対する教育並びに保育を必要とする子どもに対する保育を一体的に行い、これらの子どもの健やかな成長が図られるよう適当な環境を与えて、その心身の発達を助長するとともに、保護者に対する子育ての支援を行うことを目的とする。

【二】本園の基本理念

「共生と貢献」

1. 共生 他を受け入れ、共に生きていくなかで、それぞれの子どもが周りのすべての環境のなかで生かされていることを知り、自分も相手の存在を深め、また豊かにしていくことができる社会づくり
2. 貢献 さまざまな体験を通して得た知恵や知識を用いることによって、よりよい共生を目指す(貢献)ことに喜びを感じる子ども

【三】教育・保育方法

受け身型から参加型への保育

「自ら考え、判断し、行動する」を目標に保育を行っている。異年齢によるチーム保育、コーナー遊び、選択性保育などを取り入れ「自発性、主体性、子ども同士の関わり」が育つような保育を進めている。従来の一担任制・一斉保育(学校型教授法)を見直し、新しい形のチーム保育を取り入れ、子どもが自ら参加するような保育を目指している。

1. たてわりでない異年齢保育(インクルージョン保育)
子ども自身の発達、個性、環境を優先的に見て計画し、個々の発達の連続性を考え、それを丁寧に保障していく保育
2. 子ども主体の保育＝見守る保育
子どもの発達を保障するために、保育者は子どもに密着するのではなく、いつも少し離れたところで見守る必要があり、
発達に応じた適切な援助をする
3. ねらいに応じた選択性の保育
集団の中で、一人ひとりの個性や価値観を尊重し、一人ひとりの意思を大切にする
4. 関わりを大切にした保育
個々の違いを認め合い、ともに生きる社会「共異体」の中で、「共同的な学び」を意図する
5. チーム保育(職員集団)

【四】平成27年度自己評価

○教諭用

評価項目	自己分析
園の理念・教育方針を理解し、保育を進めることができたか。	よくできた、おおむねできた(9割)
職員間で子どもの現状を伝え合うことはできたか。	よくできた(1割)、おおむねできた(8割)、やや努力を要する(1割)
グループ内でのチームとして、職員間の共通理解は図れたか。	おおむねできた(7割)、やや努力を要する
認定こども園というチームとして、職員間の共通理解は図れたか。	よくできた(1割)、おおむねできた(8割)、やや努力を要する(1割)
自己の役割を理解し、責任を持った行動がとれたか	よくできた(1割)、おおむねできた(4割)、やや努力を要する(5割)
地域に目を向け、その良さを保育に取り入れることができたか。	やや努力を要する(8割)、努力を要する(2割)
じっくり遊ぶための、環境作りを工夫できたか。	おおむねできた(7割)、やや努力を要する
幼児が生活しやすい、環境作りを工夫できたか。	おおむねできた(7割)、やや努力を要する
行事のねらいに対する職員の共通理解はできていたか。	おおむねできた(8割)、やや努力を要する
行事の実施に際し、役割分担を明確にして取り組むことができたか。	おおむねできた(8割)、やや努力を要する
行事の実施の際、保護者にねらいをわかりやすく伝えることができていたか。	おおむねできた(8割)、やや努力を要する
行事のための保育にならないように、工夫して保育を進めることができたか。	よくできた(1割)、おおむねできた(8割)、やや努力を要する(1割)
園内の様々な取り組みについて、保護者へ的確に説明し、理解を得たか。	よくできた(1割)、おおむねできた(4割)、やや努力を要する(5割)
園内で得た子どもや保護者の個人情報、口外していないか。	よくできた
園内で得た子どもや保護者の個人情報、持ち出ししていないか。	よくできた
研修会や研究会には事前に内容を確認し、自ら課題をもって、積極的に参加し保育に生かしたか。	よくできた(2割)、おおむねできた(6割)、やや努力を要する(2割)
研修会や研究会に参加したあと、日々の保育に生かすことはできたか。	よくできた(2割)、おおむねできた(7割)、やや努力を要する(1割)
子どもの存在を丸ごと信じたかどうか。	よくできた(4割)、おおむねできた
子どもに真心を持って、接したかどうか。	よくできた(4割)、おおむねできた
子どもを見守ることができたかどうか。	よくできた(4割)、おおむねできた(5割)、やや努力を要する(1割)

○職員用

評価項目	自己分析
園の理念・教育方針を理解しているか。	おおむねできた
職員間で話し合いなどを通して、共通理解は図れたか。	おおむねできた
上司の指示を理解し、責任をもって仕事に取り組めたか。	おおむねできた(3割)、やや努力を要する
自己の役割を理解し、責任を持った行動がとれたか	やや努力を要する
行事のねらいに対する職員の共通理解はできていたか。	やや努力を要する
保護者へは園の一職員として、正しい日本語で話すことができたか。	よくできた(3割)、おおむねできた(4割)、やや努力を要する(3割)
園内で得た子どもや保護者の個人情報、口外していないか。	よくできた
園内で得た子どもや保護者の個人情報、持ち出ししていないか。	よくできた
研修会や研究会には事前に内容を確認し、自ら課題をもって、積極的に参加し保育に生かしたか。	やや努力を要する
研修会や研究会に参加したあと、日々の保育に生かすことはできたか。	やや努力を要する
子どもの存在を丸ごと信じたかどうか。	おおむねできた(7割)、やや努力を要する
子どもに真心を持って、接したかどうか。	おおむねできた(7割)、やや努力を要する
子どもを見守ることができたかどうか。	おおむねできた(3割)、やや努力を要する